

■アンケート概要

アンケート概要	漫画作品『婚約者は悪霊憑き〜貴族様は呪われていますが、愛することになりました〜』を見たことがある方へのアンケート
調査期間	2025年10月9日〜10月10日まで
回答数	15人(10代〜40代)
アンケート調査元	インターネット調査

■アンケート項目

1. 年齢を教えてください
2. 性別を教えてください
3. 漫画作品『婚約者は悪霊憑き〜貴族様は呪われていますが、愛することになりました〜』の評価を星1〜5で教えて下さい。
4. 漫画作品『婚約者は悪霊憑き〜貴族様は呪われていますが、愛することになりました〜』を実際に読んだ感想を教えてください。

1. 年齢を教えてください。	2. 性別を教えてください。	3. 『婚約者は悪霊憑き〜貴族様は呪われていますが、愛することになりました〜』の評価を1?5で教えてください。	4. 『婚約者は悪霊憑き〜貴族様は呪われていますが、愛することになりました〜』を実際に読んだ感想(ネタバレを含む)を教えてください。
40代	男性		4劣悪な環境に身を置くアメリの姿がとても切ないです。しかし、侯爵であるグラシェールと縁談をきっかけに出会うことで物語がより面白い方向に動いていくので必見です。キャラの心情の部分も丁寧に表現してくれるのですごく読みやすいです。
40代	女性		4グラシェール侯爵についている霊は見ているだけでゾッとしますし、アメリに暴力を振るう時の父親の表情も恐ろしくて、シンプルな絵柄ながら表現力が高い点が良いと思いました。
40代	女性		4今まで読んだことのない設定で面白かったです。霊が見れるヒロインと霊に取り憑かれている侯爵。2人の関係あどうなっていくのか楽しみ。
20代	女性		5めっちゃくちゃ良かったです！アメリにしっかり感情移入しながら読めたからかなり泣けました。
50代	男性		5呪いというか霊的なものを浄化させるアメリの能力が素敵でした。グラシェール侯爵と意外と相性良さそうで、この先が楽しみになりました。
50代	女性		3主役のアメリは母親譲りの霊視能力がある少女ですが、母親が亡くなり義理の母・妹、父親にも冷遇されていて裕福でもひどい扱いで可愛そうな感じです。その彼女は厄介者扱いのように、良くないうわさがあるイケメン伯爵へと嫁ぐことになります。霊視というのは割と珍しく、アメリが心優しいところにも救われます。
30代	男性		4悪霊という中々無い要素の中に驚きました、でもそんな中でも人間の温かさが印象的でした。ヒロインの強さと優しさ、そして侯爵の孤独が丁寧に描かれていて、恋愛よりは“救い”の物語に近いかも。雰囲気は少し暗いけれど、最後には優しい余韻が残る作品でした。
30代	女性		4世界観が好きです。衣装も丁寧に描かれていて素敵でした。
30代	男性		5心霊少女による恋愛模様が面白い作品です。
10代	男性		4婚約者が悪霊憑きという設定にハラハラしながらも、ヒロインと貴族の間に生まれる信頼と愛情の描写が心に残りました。特に中盤で貴族がヒロインを守るために身を挺する場面は思わず胸が熱くなりました。呪いの設定を恋愛の障壁にうまく使っていて、怪異の怖さと甘さが絶妙に混ざっていたと思います。一方で、伏線の回収がやや急ぎ足に感じられた章もあり、もう少し丁寧に描いてほしかったなと感じる部分もありますが、総じて読後感の良い作品でした。
30代	女性		4読んだ感想としては、最初は貴族の呪い話かと思いきや、悪霊憑きの婚約者との距離感や徐々に心を開いていく描写がすごく丁寧に引き込まれました。特に主人公が恐れながらも誠実に向き合う姿に胸が温かくなり、ラストで二人の関係が深まる場面は感動しました。全体を通して、呪いや悪霊の描写と恋愛の甘さのバランスが絶妙で、読んでいてワクワクしました。
20代	女性		3婚約者が?と言うので大体のストーリーが予想は着くけれど、アメリが幽霊を払えるのはちょっと面白いと思った。でも絵があまり好きではなかった
30代	女性		5幽霊とか悪霊が見えるヒロインが面白いし、今後どうなっていくのか展開も気になる。それにしても妹が特に酷いな。
30代	男性		4悪霊憑きと噂されるアレクシス様に嫁ぐことになったクロティルデのお話ですが、呪いの原因である「悪霊」の正体が小さくて可愛い精霊だったという設定がまず面白かったです。怖がられるアレクシス様も、実際は不器用なだけで心優しい人。幽霊が見える体質のせいで孤独だったクロティルデが、彼の呪いを解こうと健気に頑張る姿はとても応援したくなります。二人が少しずつ距離を縮めていき、互いを唯一無二の存在として想い合っていく過程が丁寧に描かれていて、心温まる物語でした。シリアスな設定の中に、可愛い精霊とのやり取りなど微笑ましいシーンも多く、楽しく読めました。
20代	女性		3呪いに苦しむ婚約者と、それでも彼を愛そうとするヒロインの姿に心を掴まれた。"助ける"んじゃなく"受け入れる"という愛の形が、とても優しく切なかった。悪霊の正体が明かされたときの衝撃と、それでも彼を抱きしめるクラリスの強さに涙。怖さよりも温かさが残る、魂ごと惹かれ合う恋の物語でした。